

海軍公報(部内限)號外

海軍大臣官房

昭和十二年七月十四日(水)

○通牒

經契第三號ノ八四四

昭和十二年六月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

鋼索類購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左記ノ通關西製鋼株式會社、東京製鋼株式會社、東洋製鋼株式會社、日本鐵線鋼索株式會社、昭和製鋼株式會社、中央製鋼株式會社ト契約締結致候條左ニ依リ處理相成度

記

契約 書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ別紙記載ノ鋼索類(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和拾參年參月末日迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ關西製鋼株式會社、東京製鋼株式會社、東洋製鋼株式會社、日本鐵線鋼索

株式會社、昭和製鋼株式會社、中央製鋼株式會社(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第壹條 乙ハ別紙記載ノ本品價格表ニ依リ乙ノ工場ノ

製品ヲ甲又ハ甲ノ指定スル者(以下註文者ト稱ス)

ニ供給スルモノトス

第貳條 乙ハ前條ニ依リ供給スヘキ本品ノ製造工事ニ

就テハ總テ在、海軍造船監督官(以下監督官ト稱

ス)ノ監督検査ヲ受クルモノトス

第參條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナル

ヲ要ス

第四條 註文者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品種

毎ニ品名、寸法、規格、數量、納期、納入場所其ノ

他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書二通ヲ作製シ一

通ヲ乙ニ、他ノ一通ヲ監督官ニ送付スルモノトス

但シ納期ハ註文書乙ニ到着後凡ソ一ヶ月ノ餘裕アル

如ク取計フモノトス

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ之ト同一

海軍公報(部内限)號外

- 書式ニ依リ購買番號、單價、代價其ノ他必要ナル事項ヲ記載セル明細書ヲ附シタル承諾書ヲ監督官ヲ經テ註文者ニ提出スルモノトス
- 第六條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス
- 第七條 本品引渡後一ケ年以内ニ有害ナリト認ムル瑕疵ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ指定期間内ニ無償ニテ之ガ引換又ハ補修ヲ爲スモノトス
- 第八條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス
分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準シ請求書ヲ提出スルモノトス
- 第九條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂ヲ爲スモノトス
- 第十條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ本契約ニ因リテ生スル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得サルモノトス
- 第十一條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守シ又他人ヲシテ嚴守セシムルノ義務ヲ負フモノトス
- 第十二條 本契約ニ明掲ノ外ハ大正拾壹年四月海軍省

令第十一號海軍契約規程並同施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲本書貳通ヲ作り各自記名調印シテ各共ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十二年六月一日

海軍省經理局長 村上春一

關西製鋼株式會社

東京製鋼株式會社

東洋製鋼株式會社

日本鐵線鋼索株式會社

昭和製鋼株式會社

中央製鋼株式會社

(別表十頁添)

關西製網株式會社											製造所		
第六號上等鋼索			第五號上等鋼索			第四號上等鋼索			第一號上等鋼索		種別		
壹六	壹四	壹貳	壹〇	八	五八	四八	四〇	參八	參六	貳八	貳四	壹五	徑寸 耗法
													單 一米ニ付
五四五	四四四	參六參	貳七四	貳五〇	五五〇壹	參八五六	貳六四〇	貳參八貳	貳壹參四	壹壹八八	八九參	〇六參	價
大阪監督官監督											<p>本表單價中ニハ官指定ノ納入地迄ノ荷造運賃竝ニ納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス</p> <p>(以下同斷)</p>		
(以下同斷)													

(昭和十二年七月十四日公報(部内限)號外別紙)

東 京 製 網 株 式 會 社									關 西 製 網 株 式 會 社					
第 四 號 上 等 鋼 索									第 六 號 上 等 鋼 索					
五〇	四八	四六	四四	四貳	貳六	壹四	壹貳	八	貳八	貳六	貳四	貳貳	貳〇	壹八
四貳〇八	參八七八	參五六七	參壹九五	貳九壹〇	壹〇參九	參五九	貳九五	壹七五	壹四貳六	壹貳五七	壹〇九壹	九四參	八〇〇	六六五
東京又ハ八幡監督官監督														

1755

社 會 式 株 網 製 東 京

第六號特別鋼索										第四號上等鋼索				
壹八	壹六	壹四	壹貳	壹〇	九	八	六	四	六五	六貳	六〇	五八	五五	五貳
									七壹壹壹	六四六九	六〇五九	五六六貳	五〇九壹	四五五壹
七六八	六〇九	四八八	四〇貳	參貳	參〇參	貳六八	貳七貳	貳七貳						

三

東 京 製 網 株 式 會 社

第 六 號 特 別 鋼 索

五五	五貳	五〇	四八	四六	四四	四貳	四〇	參八	參六	參四	參貳	貳四	貳貳	貳〇
六九〇七	六〇參五	五六七五	五貳貳九	四八〇參	四參九五	四〇〇四	參六參貳	參貳七八	貳八〇六	貳五〇參	貳貳參壹	壹貳八七	壹〇九九	九〇四

東 京 製 綱 株 式 會 社

第七號特別鋼索

第六號特別鋼索

四六	四四	四貳	四〇	參八	參四	參貳	貳六	貳四	貳貳	貳〇	壹八	壹六	六〇	五八
五參貳〇	四八六七	四四參五	四〇貳參	參六參〇	貳八八六	貳五七參	壹八貳九	壹六〇九	壹四〇貳	壹貳〇壹	壹〇壹八	八五八	八貳貳壹	七六八壹

東洋製鋼株式會社						東京製鋼株式會社								
第五號上等鋼索		第四號上等鋼索				第參號上等鋼索	第七號特別鋼索							
壹貳	八	參四	參貳	參〇	貳貳	參六	六五	六貳	六〇	五八	五五	五貳	五〇	四八
參壹壹	貳〇九	壹九〇七	壹六四參	壹參五參	七六壹	貳貳七〇	壹〇六六參	九七四壹	九〇八六	八四九〇	七六參五	六八貳四	六貳八六	五七九貳
						大阪監督官監督								

日株 本式 鐵線 鋼索 社			東洋製網株式會社										
第四號上等鋼索			第七號特別鋼索			第六號特別鋼索		第六號上等鋼索		第六號上等鋼索		第五號上等鋼索	
貳〇	壹八	壹六	參六	參〇	貳八	參〇	貳八	貳六	參六	參四	參貳	壹六	壹四
六四〇	五參貳	四參九	參貳壹參	貳參壹貳	貳〇五七	壹九六七	壹七貳四	壹四九七	貳參七九	貳壹壹八	貳〇八壹	四八四	參七七
大阪監督官監督													

七

社 會 式 株 網 製 央 中								社 會 式 株 網 製 和 昭											
第 參 號 上 等 鋼 索	第 貳 號 上 等 鋼 索							第 四 號 上 等 鋼 索	第 貳 號 上 等 鋼 索										
	參	九	八	七	六	五	四		貳	壹	〇	九	七	壹	四	壹	貳	壹	〇
	壹	壹	壹	〇	〇	〇	〇		〇	貳	貳	壹	參	貳	貳	貳	貳	壹	壹
大阪監督官監督								大阪監督官監督											

1761

中 央 製 網 株 式 會 社

第 貳 號 普 通 鋼 索	第 壹 號 普 通 鋼 索	第 六 號 上 等 鋼 索				第 四 號 上 等 鋼 索			第 參 號 上 等 鋼 索					
八	貳	七	六	五	四	六	五	四	九	八	七	六	五	四
〇 八 〇	〇 五 〇	貳 參 五	貳 貳 四	貳 貳 〇	貳 貳 〇	壹 貳 七	壹 四 參	壹 四 五	壹 八 〇	壹 五 壹	壹 貳 七	壹 壹 壹	壹 貳 貳	壹 〇 五

1762

	網社	製會	央式	申株
	第參號普通鋼索			
	七	六	五	四
	〇九六	〇七六	〇七五	〇七五

10

海軍公報

(部内限)第二千六百六十三號

海軍大臣官房

昭和十二年七月十五日(木)

○通牒

軍務二機密第四八五號

昭和十二年七月十五日

海軍省軍務局長

令提

關係各廳長殿

測波器整合及送信機電波測定ニ

關スル件申進

昭和十年軍務二機密第四八八號ニ依ル首題ノ件ハ昭和十二年八月限り之ヲ廢止セラレ候(參照) 内令摘要 卷ニ六四五頁

(昭和十年六月二十六日海軍公報(部内限)號外參照)

○雜款

○司令水雷艇變更

第二十一水雷隊司令ハ本月十日司令水雷艇ヲ眞鶴ヨリ千島ニ變更セリ

○特務艦隱戸行動豫定

地名	着	發
吳		七月十七日
カタングリ	七月二十四日	二十八日
德山	八月四日	八月六日
大湊	十日	十一日
ペトロバヴロフスキー	十六日	十八日
カタングリ	二十一日	二十六日
德山	九月二日	四日
吳	四日	九月四日

○郵便物發送先

第十六驅逐隊(芙蓉、刈萱)宛 門司郵便局氣付(軍艦郵便) 當分ノ間

特務艦隱戸宛

七月十六日迄ニ到達見込ノモノハ	吳
八月五日迄ニ同	德山
九月十日迄ニ同	大湊
九月三日迄ニ同	德山
其ノ後ハ	吳

海軍公報(部内限)第二千六百六十三號

昭和十二年七月十五日

五九五

○懲罰

懲罰言渡書

海軍公報(部内限)第二千六百六十三號
昭和十二年七月十五日

五九六

○艦船所在

指[△]定[△]ヲ[△]要[△]セ[△]ズ

○七月十五日午前十時調

【横須賀】

對馬[▲]、大鯨、鳥海、愛宕、那珂[▲]、阿武隈、山城、[▷]木曾、春日、[▷]沖島、神威、沖風[▲]、峯風[▲]、[▷]島風[▲]、沙風[▲]、灘風[▲]、[▷]太刀風、羽風、秋風、[▷]響[▲]、雷[▲]、電[▲]、呂五八

富士[▲]、尻矢、洲崎

【長浦】

嚴島夕風、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九、[▷]伊二四、[▷]伊二三、[▷]掃二、[▷]掃六、[▷]掃五、[▷]掃一、[▷]掃三、[▷]掃四

【石川島】

【横濱】

【浦賀】

【館山】

【大湊】

【函館】

【吳】

矢矧、韓崎[▲]、比叡[▲]、最上[▲]、球磨、扶桑、青葉、衣笠、伊勢、安宅[▲]、大井、[▷]長鯨、[▷]白鷹、多摩、夕顔、藤、矢風、呂五一[▲]、呂五三[▲]、呂二六[▲]、呂二七[▲]

【大阪】

古鷹[▲]

【神戸】

滿潮[▲]、伊六三[▲]、伊五九[▲]、荒潮[▲]、[▷]伊八[▲]、[▷]伊七五[▲]、能登呂[▲]

【相生】

鷲[▲]、[▷]能登呂[▲]

【玉】

雉[▲]、[▷]能登呂[▲]

【因島】

薄[▲]、[▷]能登呂[▲]

【江田内】

平戸、淺間、吾妻[▲]

【舞鶴】

白雲[▲]、東雲[▲]、叢雲[▲]、薄雲[▲]、呂六四

【佐世保】

赤城[▲]、加古、長良、妙高[▲]、北上、[▷]金剛、常磐、[▷]足柄、[▷]由良、名取、鬼怒、[▷]川内、梨、竹、榎、桃、柳、檜、荻、[▷]蓼、[▷]菱、[▷]蓬、[▷]疾風、追風、[▷]望月、三日月、[▷]江風、海風、山風、[▷]夕立、村雨、五月雨、[▷]時雨、白露、有明、夕暮、[▷]初霜、子日

海軍公報(部内限)第二千六百六十三號

昭和十二年七月十五日

五九七

【長崎】三隈 ▲ (朝潮) ▲ (夏雲) ▲ (伊七四) ▲
 【古江】眞鶴 ▲
 【有明灣】口高雄、摩耶、▽羽黒、那智、▽神通、▽迅鯨、
 加賀 ▲
 口朧、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽綾波、
 磯波、浦波、敷波、▽文月、皐月、水無月、
 長月 ▲
 伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六一、
 伊六二、伊六四、▽伊六七、伊六六 ▲
 【馬公】嵯峨 ▲
 口松風、春風、旗風 ▲
 【鎮海】口柿、葦、楡 ▲
 【旅順】淀 ▲
 口菊、夕月 ▲
 【塘沽】口菊、葵 ▲
 【芝罘】口萩 ▲
 【青島】▽天龍、龍田 ▲
 口芙蓉、刈萱 ▲
 【上海】口出雲、堅田 ▲
 粟 ▲

【南京】梅 ▲
 【蕪湖】遠 ▲
 【九江】熱海 ▲
 【漢口】▽八重山、保津 ▲
 【長沙】勢多 ▲
 【宜昌】鳥羽 ▲
 【重慶】比良 ▲
 【馬尾】朝顔、朝風 ▲
 【廈門】▽夕張、吳竹 ▲
 【汕頭】早苗 ▲
 【廣東】早苗 ▲
 【作業地】駒橋、勝利 ▲
 口神風、野風、波風、沼風 ▲
 膠州、早鞆 ▲
 【航海中】
 口磐手、八雲 (十日古倫母發)「ヂブチ」()
 二見 (十二日漢口發)「宜昌」()
 口呂六七、呂六五、呂六六 (十三日馬公發)「港外」()
 口初雪、吹雪、白雪 (十三日佐伯發) ▲
 知床 (十三日佐世保發) ▲
 野島 (十四日横須賀發)「佐世保」() ▲
 口陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、▽五十鈴、▽龍驤、
 鳳翔、▽伊二、伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、
 鳴戸、間宮 (十四日伊勢灣發) ▲
 鶴見 (十四日有明灣發) ▲
 伊七 (十五日館山發)「横須賀」() ▲

(辭令號外一頁) 別綴

海軍公報

(部内限) 第二千六百六十四號

海軍大臣官房

昭和十二年七月十六日(金)

○通牒

官房第三七一八號

本日海軍大臣ヨリ地方長官ニ對シテ左ノ通訓示セラレタリ

昭和十二年七月十五日

海軍省 副官

(昭和十二年七月十五日 於地方長官會議)

北支事變ニ際シ地方長官會議ヲ召集セラレタル此ノ機會ニ於キマシテ今次事變ニ際シ海軍ノ執リツツアリマス事ニ付一言申述ベクタイト存ジマス

在外帝國臣民ノ生命財產竝ニ帝國ノ權益ヲ擁護シテ國運ノ伸展ヲ圖リマスルハ帝國海軍ノ重大ナル責務ノ一デアリマシテ此等使命達成ノ爲支那及滿洲國沿岸、揚子江流域、滿洲國河川流域竝ニ北洋、南洋方面ニハ幾多ノ艦船部隊ヲ派遣シ警備ノ任務ニ就カシメラレテ居ル次第デアリマス

今次北支事變ニ於キマシテ此等艦船部隊ハ帝國ノ方針タル事件不廣大主義ヲ堅持シ夫々其ノ警備地ニ在リテ益警戒ヲ嚴ニシツツアル次第デアリマスガ北支方面ノ情勢惡化ニ伴ヒ其ノ影響ノ中南支方面ニモ及ビマスコトハ從來屢經驗セル所デアリマスルガ故ニ帝國海軍トシテハ同方面ノ警備ニ關シ眞ニ重大ナル關心ヲ拂ハザル可ラザル次第デアリマス

以上ノ情勢ニ對應致シマス爲ニ必要ナル海軍ノ兵力ハ夫々準備待機セシメラレ北支方面ニ在リマシテハ陸軍ニ全幅ノ協力ヲ致シ以テ速ニ事態ノ收拾ニ努ムルト共ニ中南支方面ニ對シマシテハ事件ノ擴大波及スル如キ場合ニモ帝國在留民ノ生命財產竝ニ帝國ノ權益ノ擁護ニ些ノ遺憾ナキヲ期シツツアル次第デアリマスルカラ

諸官ニ於カレテモ以上本大臣ノ述ベマシタル要旨ヲ十分ニ管下官民ニ徹底セシメ輕躁ヲ戒メ毅然タル大國民ノ襟度ヲ堅持シテ時局ニ善處セシメラレンコトヲ切望致シマス

海軍公報(部内限) 第二千六百六十四號

昭和十二年七月十六日

五九九

尙現下支那方面ニ於キマシテハ其ノ沿岸各地竝ニ四川省ニ及ブ揚子江流域ニ警備ノ艦船ヲ配備シ在留邦人ノ保護ニ遺憾ナキヲ期シツツアリマスコトハ別ニ差上ゲマシタ附圖ノ通デアリマス(附圖略)
之ヲ以テ御挨拶ヲ終リマス

○ 雜 款 辭 令

海軍主計中佐 岡 保 三
海軍用語調査委員會委員ヲ免ス(七月廿九日海軍省)

海軍大佐 伍賀 啓次郎(艦 本)
同 義 輪 中五(大 鯨)

海軍中佐 一宮 義之(軍 令)
海軍少佐 松 村 翠(軍 務)

海軍機關大佐 森田 貫一(同)
(各通) 同 島本 万太郎(艦 本)

同 藤井 芳郎(同)
海軍機關中佐 日色 謹爾(横 艦)

同 梅津 二郎(大 鯨)
同 釜 田 勇(軍 令)

海軍造船大佐 片山 有樹(艦 本)
軍艦大鯨審議委員ヲ命ス(以上 七月廿九日海軍艦政本部)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

第八戰隊司令部、軍艦由良、鬼怒、名取宛
自 今 佐世保郵便局氣付(軍事郵便)

第五驅逐隊(朝風及隊主計長)宛
當分ノ間 基隆郵便局氣付(軍事郵便)

○ 郵便物發送先變更(七月十四日 本欄参照)

第一艦隊(第八戰隊、第一水雷戰隊缺)宛
七月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

其ノ後ハ 高知縣宿毛
特務艦鳴戸宛
七月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

○艦船所在

指印ハハホ七
定ヲ要セズ

○七月十六日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨、烏海、愛宕、那珂▲阿武隈、
駒橋、山城、▶木曾、春日、▶沖島、神威、
沖風▲、峯風▲、口島風▲、汐風▲、灘風▲、
口太刀風、羽風、秋風、口響▲、雷▲、電▲

呂五八

富士▲、尻矢、洲崎

【長浦】▲殿島

夕風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、口伊二四、伊二三、伊七

口掃二、掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

【石川島】

(鳩)▲

【横濱】

(雁)▲

【浦賀】

(涼風)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

大泊

【函館】

帆風▲

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、扶桑、
青葉、衣笠、伊勢、安宅▲、大井、▶長鯨、
▶白鷹、多摩

夕顔、藤、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲

伊五一、伊五二、伊五五▲

伊二二、伊二一、口呂三三、呂三四、

伊五三、伊五四、口伊五八、伊五六、

伊五七、口伊七三、伊七一、伊七二

口掃一六、掃一四、掃三、掃一五、掃一七、掃一八

石廊、室戸、攝津、隠戸、襟裳、朝日

【大阪】

古鷹▲

(滿潮)▲

【神戸】

口伊六三、伊五九▲

(荒潮)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

能登呂▲

(鷲)▲

【玉】

(雄)▲

【因島】

口薄▲、葛▲

【江田内】

平戸、淺間

【宿毛】

口高雄、摩耶、▶羽黒、那智、▶神通、▶迅鯨、
▶加賀

口腕、曙、潮、口天霧、朝霧、夕霧、口綾波、
磯波、浦波、敷波、口文月、阜月、水無月、
長月

【舞鶴】

伊六八、伊六九、伊七〇、口伊六一、
伊六二、伊六四、口伊六七、伊六六

口白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

呂六四

口鴻▲、隼▲、鴨▲、鵲▲

海軍公報(部内限) 第二千六百六十四號 昭和十二年七月十六日

<p>【上】海 栗</p>	<p>【青】島 出雲、堅田</p>	<p>【塘】沽 天龍、龍田</p>	<p>【鎮】海 菊、葵、萩</p>	<p>【旅】順 知床、 菊月、夕月、 初雪、吹雪、 白雪</p>	<p>【鎮】海 柿、葦、榆</p>	<p>【馬】公 松風、春風、 旗風</p>	<p>【古】江 嵯峨</p>	<p>【長】崎 三限</p>	<p>【朝】潮 眞鶴</p>	<p>(夏雲) (伊七四)</p>	<p>【初】雁 千鳥、友鶴</p>	<p>【數】島 佐多</p>	<p>【呂】六〇、 伊六五</p>	<p>【呂】六一、 呂六二、 呂六八、 呂六三、</p>	<p>【呂】三〇、 呂三一、 呂三二、 呂六〇、</p>	<p>【朝】風、 伊曉、 漣、 狹霧</p>	<p>【初】春、 有明、 夕暮、 初霜、 子日、 若葉、</p>	<p>【白】露、 陸月、 卯月、 如月、 彌生、 夕風、</p>	<p>【海】風、 山風、 夕立、 村雨、 五月雨、 時雨、</p>	<p>【菱】▲、 蓬▲、 疾風、 追風、 望月、 江風、</p>	<p>【梨】▲、 竹▲、 榎▲、 桃▲、 柳▲、 檜▲、 董▲、 蓼▲、</p>	<p>【常】磐、 足柄、 由良、 名取、 鬼怒、 川内</p>	<p>【佐】世保 赤城、 加古、 長良、 妙高、 北上、 金剛、</p>	<p>(春雨) (大潮)</p>					
<p>【南】京 梅</p>	<p>【燕】湖 蓮</p>	<p>【九】江 熱海</p>	<p>【漢】口 八重山、 保津</p>	<p>【長】沙 勢多</p>	<p>【宜】昌 鳥羽、 二見</p>	<p>【重】慶 比良</p>	<p>【馬】尾 朝顏、 朝風</p>	<p>【厦】門 夕張</p>	<p>【汕】頭 若竹、 吳竹</p>	<p>【廣】東 早苗</p>	<p>【作】業地 勝力</p>	<p>【神】州 野風、 波風、 沼風</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>	<p>【早】苗</p>
<p>【航海中】 八雲 (十日古倫母發)「デブチ」 野島 (十四日横須賀發)「佐世保」 陸奥、長門、日向、霧島、榛名、五十鈴、龍驤、 鳳翔、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、 鳴戸、間宮 (十四日伊勢灣發) 鶴見 (十四日有明灣發) 呂六七、呂六五、呂六六 (十五日馬公發)「佐世保」 三日月 (十六日佐世保發)「旅順」</p>																													

海軍公報

(部内限) 第二千六百六十五號

海軍大臣官房

昭和十二年七月十七日(土)

○令 達

官房第三七四三號

左記ノ者當分ノ間海軍購買名簿ニ依ル指名競争契約ノ
入札又ハ隨意契約ノ見積加入ノ指定ヲ停止ス

昭和十二年七月十七日

海 軍 大 臣

記

一、合資會社伊藤製油場 三重縣桑名郡西桑名町四九
七

○辭 令

松 永 重 一
造船業務ヲ囑託シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル

佐 藤 好 松

山 崎 末 市

山 崎 武 郎

(各通)

(各通)

造機業務ヲ囑託ス

(各通)

造機業務ヲ囑託ス(以上^{以上}海軍艦政本部)

海軍造兵大尉 吉川 春夫

海軍用語改正ノ爲海軍用語調査委員會臨時委員ニ指
定ス(此^此海軍用語調査委員會委員長)

川 内 喜 久 夫

切 通 進

岸 川 喜 惣 治

野 口 次 郎

中 原 終 平

○雜 款

○將旗撤去

第四戰隊司令官ハ昨十五日將旗ヲ足柄ヨリ撤去セリ

○郵便物發送先

第一水雷戰隊宛

海軍公報(部内限) 第二千六百六十五號 昭和十二年七月十七日

六〇三

自今 佐世保郵便局氣付(軍事郵便)

○郵便物發送先變更(七月十四日)

(本欄参照)

第二艦隊(軍艦足柄、伊號第六十五潜水艦、鶴見缺)

宛 七月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 大分縣別府 其ノ後ハ 高知縣宿毛

○艦裝具事務所設置

驅逐艦滿潮艦裝具事務所ヲ株式会社藤永田造船所構内ニ設置シ本月十三日ヨリ事務ヲ開始セリ

○殘務整理及郵便物發送先變更(七月十三日)

(本欄参照)

一、元第四戰隊司令部殘務整理
自今 軍令部第三部 前田部員
二、關係書類ハ右ニ宛送付相成度

○十 版内令提要追録第二號七月十六日發送済

(海軍省副官)

○正誤

(人)

七月十四日號外經契第三號ノ八四四別表中東京製綱株式會社ノ分第六號特別綱索壹〇耗ノ單價「參貳〇」ハ「參貳壹」ノ、中央製綱株式會社ノ分「第貳號上等綱索」ハ「第貳號上等綱索」ノ孰モ誤

○艦船所在

指▲印ハ「ホ」
定ヲ要セズ

○七月十七日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨、鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈、
駒橋、山城、▷木曾、▷沖島、神威
沖風▲、峯風▲、▽島風▲、沙風▲、灘風▲
▽太刀風、羽風、秋風、▽響▲、雷▲、電▲

呂五八

富士▲、尻矢、洲崎
(鈴谷)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

▽殿島
夕風
呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲
呂五九▲、▽伊二四、伊二三、伊七
▽掃二、掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

【石川島】

(鳩)▲

【横濱】

(雁)▲

【浦賀】

(涼風)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

大泊

【函館】

帆風▲

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、扶桑、
青葉、衣笠、伊勢、安宅▲、大井、▷長鯨、
▽白鷹、多摩

夕顔、藤、矢風
呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(滿潮)▲
▽伊六三▲、伊五九▲

【相生】

(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲
能登呂

【玉】

(鷲)▲
(雉)▲

【因島】

▽薄▲、葛▲

【江田内】

平戸、淺間

【宿毛】

▽陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、▽五十鈴、
▽龍驤、鳳翔、▽高雄、摩耶、▽羽黑、那智、
▽神通、▷迅鯨、▷加賀

【磯波】

▽曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽綾波、
磯波、浦波、敷波、▽文月、皐月、水無月、
長月

【舞鶴】

▽伊二、伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、
▽伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六一、
伊六二、伊六四、▽伊六七、伊六六

鳴戸、間宮
吾妻▲

海軍公報(部内限) 第二千六百六十五號

昭和十二年七月十七日

白雲、東雲、叢雲、薄雲

呂六四

鴻、隼、鴨、鵝

(春雨)(大潮)

赤城、加古、長良、妙高、北上、金剛

常磐、足柄、由良、名取、鬼怒、川内

梨、竹、樵、桃、柳、檜、董、蓼

菱、蓬、疾風、追風、望月、江風

海風、山風、夕立、村雨、五月雨、時雨

白露、有明、夕暮、初霜、子日、若葉

初春、睦月、卯月、如月、彌生、夕風

朝風、曉、漣、狹霧

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六八、呂六三、伊六〇、伊六五

初雁、千鳥、友鶴

敷島、佐多

(朝潮)(夏雲)(伊七四)

三隈

真鶴

嵯峨

松風、春風、旗風

柿、葦、楡

鎮海

順淀

菊月、夕月、三日月、初雪、吹雪、白雪

知床

菊、葵、萩

天龍、龍田

壱、壱

壱、壱

壱、壱

壱、壱

壱、壱

壱、壱

壱、壱

壱、壱

壱、壱

壱、壱

壱、壱

上海、芙蓉、刈萱、栗

南、燕、九、漢、長、宜、重、馬、厦、汕、廣、作

業地

神風、野風、波風、沼風

早苗、勝力

若竹、吳竹

朝顏、朝風

夕張

鳥羽、二見

比良

勢多

八重山、保津

熱海

梅

八雲、八雲

十日古倫母發

十四日橫須賀發

十五日馬公發

佐世保發

釜山發

十七日橫須賀發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

釜山發

海軍公報

(部内限) 第二千六百六十六號

昭和十二年七月十九日(月)

海軍大臣官房

○ 雜 款

○軍艦春日行動豫定

地名	着	發
横須賀	七月二十日	七月十七日
釜山	二十三日	二十二日
舞鶴	二十七日	二十六日
大坂	二十九日	二十七日
大須賀	八月一日	三十一日

○郵便物發送先

軍艦春日宛

七月二十一日迄	到達見込ノモノハ	釜山
同二十五日迄	同	新舞鶴
同三十日迄	同	大坂
其ノ後ハ		横須賀

第一航空戦隊宛
自今

大分縣佐伯

○事務開始
第十三航空隊ノ事務ヲ七月十二日ヨリ當分ノ間大村海軍航空隊ニ於テ開始ス

○一昨十七日辭令公報號外(一頁)發行セリ

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○七月十九日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、大鯨、鳥海、愛宕、那珂▲、阿武隈、
駒橋、▷山城、木曾、▷沖島、神威、
沖風▲、峯風▲、▷島風▲、沙風▲、灘風▲、
▷太刀風、羽風、秋風、▷響▲、雷▲、電▲

呂五八

富士▲、尻矢、洲崎

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】▷巖島

夕風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▷伊二四、伊二三、伊七

▷掃二、掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

【石川島】(鳩)▲

横濱

(雁)▲

浦賀

(涼風)▲

館山

澤風▲

大湊

大泊

函館

帆風▲

吳

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、扶桑、
青葉、衣笠、伊勢、安宅▲、大井、▷長鯨、
▷白鷹、多摩、▷陸奥、長門、日向、▷霧島、
榛名、▷五十鈴、▷龍驤、鳳翔、
夕顔、藤、矢風、▷陸月、卯月、如月、彌生

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲

▷伊二二、伊二一、▷呂三三、呂三四、
▷伊五三、伊五四、▷伊五八、伊五六、
伊五七、▷伊七三、伊七一、伊七二、
▷伊二、伊一、伊三、▷伊六、伊四、伊五

▷掃一六、掃一四、掃二三、掃一五、掃一七、掃一八

石廊、室戸、攝津、襟裳、朝日

(蒼龍)▲(千歳)▲(熊野)▲

古鷹▲

(滿潮)▲

【神戶】▷伊六三、伊五九▲

(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】能登呂▲

(鷲)▲

【玉】(雄)▲

【因島】▷薄▲、葛▲

【江田内】平戸、淺間

【別府】▷高雄、摩耶、▷羽黒、那智、▷神通、▷迅鯨、
▷加賀

▷隴、曙、潮、▷天霧、朝霧、夕霧、▷綾波、
磯波、浦波、敷波、▷文月、皐月、水無月、
長月

▷伊六八、伊六九、伊七〇、▷伊六一、
伊六二、伊六四、▷伊六七、伊六六

【宿毛】鳴戸

【舞鶴】吾妻▲

海軍公報(部内限) 第二千六百六十六號 昭和十二年七月十九日

六〇九

白雲、東雲、叢雲、薄雲 呂六四	鴻、隼、鴨、鶴 (春雨) (大潮)	佐世保	赤城、加古、長良、妙高、北上、金剛、常磐、由良、名取、鬼怒、川内、足柄	梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、蓼、菱、蓬、疾風、追風、江風、海風、夕立、村雨、五月雨、時雨、白露、有明、夕暮、初霜、子日、若葉、初春、夕風、朝風、曉、漣、狹霧	呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六八、呂六三、呂六七、呂六五、呂六六、伊六〇、伊六五	初雁、千鳥、友鶴、敷島、佐多、鶴見	(朝潮) (夏雲) (伊七四)	長崎	三隈、嵯峨、勝力	馬公	松風、朝風	鎮海	白雲、知床、旅順、菊月、夕月、三日月、望月、初雪、吹雪、葦	塘沽	菊、葵、萩、天龍、龍田、芙蓉、刈萱	青島	芙蓉、刈萱	上海	出雲、堅田
南、京、栗、梅、蓮、熱海	九、江、八重山、保津	漢、口、勢多	長、沙、二見	宜、昌、比良	重、慶、旗風、若竹	馬、尾、夕張	厦、門、吳竹、春風	汕、頭、早苗	廣、東、早稻	作、業、地、早稻	膠、州、野風、波風、沼風、朝顔	航、海、中、野島	磐、手、八雲、十日古倫母發、釜山、春日	烏、羽、十七日橫須賀發、釜山、問宮	間、宮、十七日宜昌發、漢口、隱戸	淀、戸、十七日宿毛發、大阪、山風	榆、風、十八日秦皇島發、大湍沖、梯	真、鶴、十八日佐世保發、十九日鎮海發、十九日古江發、鹿兒島	

(普通公報ナシ、號外七頁、辭令號外一頁)

海軍公報(部内限)號外

海軍大臣官房

昭和十二年七月十九日(月)

○令 達

官房第三七二七號

昭和十二年海軍大演習用艦營需品及燃料ノ取扱方左ノ
通定ム

昭和十二年七月十六日

海 軍 大 臣

- 一、昭和十二年海軍大演習用(以下演習用ト稱ス)艦營需品及燃料ノ取扱方ハ艦營需品及燃料ニ關スル規程ニ依ルノ外左ノ各號ニ依ル
- 二、演習用艦營需品及燃料ハ別ニ之ヲ告達ス
- 三、演習ノ爲新ニ艦隊、他ノ鎮守府又ハ要港部部隊ニ配屬セラレタル艦船及航空機ノ回航用(集合、歸投用)燃料豫算及行動用消耗品豫算ハ新所屬長官ニ、平常用差増ノ燃料豫算、統監部附屬艦船用燃料豫算及行動用消耗品豫算ハ舊所屬長官ニ告達ス
- 四、演習中増設セラレタル司令部及特設部隊ニ要スル

- 艦營需品ハ定額表外トシ、備品ハ貸與トシ、一般用消耗品ハ演習ノ爲特ニ告達セラレタル豫算ノ範圍内ニ於テ所要ノ數額ヲ供給又ハ直買スヘシ
- 五、中央審判部首席審判官ハ演習中必要ニ應シ豫算ノ範圍内ニ於テ演習用燃料及行動用消耗品告達豫算ヲ増減スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ海軍省軍需局長ニ通知スヘシ
- 六、演習用豫算ハ演習ニ關スル任務終了ノ日ヲ以テ打切整理スヘシ
- 七、所屬長官ハ演習終結後速ニ演習終結時ニ於ケル歸投用以外ノ演習用燃料及行動用消耗品ノ豫算殘及在庫殘額ヲ中央審判部首席審判官及海軍省軍需局長ニ通報スヘシ
- 八、演習用燃料ハ燃料經理規程別表燃料使用區分ニ依ラス演習用燃料告達豫算ノ範圍内ニ於テ所屬長官適宜使用セシムルコトヲ得
- 九、所屬長官ハ演習用各種燃料告達額中重油、煉炭又

海軍公報(部内限)號外

ハ塊炭ノ二割以内ヲ燃料經理規程別表燃料相互換算係數ニ依リ他種ノ燃料ニ換算告知スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨中央審判部首席審判官及海軍省軍需局長ニ通知スヘシ

一〇、所屬長官ハ演習用航空八五揮發油告達豫算ノ範圍内ニ於テ必要ニ應シ他ノ品種ノ航空燃料ヲ告知スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨中央審判部首席審判官及海軍省軍需局長ニ通知スヘシ

一一、所屬長官ハ演習用燃料告達豫算ノ一部ヲ他ノ所屬長官ニ分割スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ中央審判部首席審判官及海軍省軍需局長ニ通報スヘシ
一二、所屬長官ハ特務艇ニ要スル演習用燃料及行動用消耗品豫算ヲ特務艇長ニ告知スルコトヲ得

一三、演習用燃料及行動用消耗品ハ經常用ノモノト區別シテ整理スヘシ

一四、所屬長官ハ已ムヲ得サル事情ニ依リ演習用燃料及行動用消耗品ノ一部又ハ全額ヲ搭載シ得サル艦船ニ對シテハ經常用在庫品ヲ使用セシメ又要スレバ舊所屬長官ノ同意ヲ得テ演習用告知豫算ヲ以テ受込ミ得ル範圍内ニテ經常用在庫品ヲ還納セシムルコトヲ得但シ前段ノ場合ニ於テハ爾後成ル可ク速ニ演習用

豫算ヲ以テ之カ補填ヲ爲サシムヘシ

一五、所屬長官ハ演習終了後演習用燃料及行動用消耗品使用殘額ヲ有スル艦船ニ對シテハ經常用告達豫算内ニ於テ之ヲ經常用ニ振替使用セシムルコトヲ得但シ役務ノ關係上昭和十二年度内ニ使用ノ見込ナキモノニ付テハ之ヲ還納セシムベシ

一六、所屬長官前號ニ依リ演習用燃料及行動用消耗品使用殘額ヲ處理セシメタルトキハ之ヲ別紙(様式一)ニ依リ海軍省軍需局長ニ通報スヘシ

一七、所屬長官ハ演習終了後速ニ演習用燃料及行動用消耗品豫算現狀報告(燃料經理規程第三十七條様式第十六號)ヲ作製シ之ヲ海軍大臣ニ提出スヘシ

一八、兵備品會計官更ハ演習用トシテ出納セル艦營需品ノ品名數量、金額及燃料ノ品種、數量及運搬費ヲ別紙(様式二、三)ニ依リ演習終了後速ニ海軍省軍需局長ニ通報スヘシ

一九、各海軍軍需部長及舞鶴要港部軍需部長ハ演習終了後二箇月以内ニ演習用燃料並ニ行動用消耗品豫算決算表(様式四) 艦營需品供給並ニ直買豫算決算表、貸與品損耗復舊表(様式五)ヲ調製シ海軍大臣ニ報告スヘシ

<p>(様式一) 昭和十二年海軍大演習用燃料残額處理 通報(行動用)(平常用)(石炭)(重油)(航空機 用燃料)(其ノ他ノ輕質油)(行動用消耗品)</p>	<p>艦船 部隊名 所屬 演習中 在庫 殘額 品名 數量 處理 概要</p>	<p>(長門)同 右 重油 一八五</p>	<p>(榛名)第一艦隊 重油 三〇〇</p>	<p>備考 燃料ハ行動用、平常用ニ區別シ更ニ石炭、重油、航 空機用燃料及其ノ他ノ輕質油毎ニ別紙トスヘシ (様式二) 番 號 昭和 年 月 日 海軍省軍需局長殿 (出納命令官經由)兵備品會計官吏 昭和十二年海軍大演習用艦營需品備品 (二般用消耗品)(行動用消耗品)供給 (貸與)(補給)(還納)通報</p>
<p>艦船 部隊名 月日 品名 數稱 數量 單價 代價 運搬費 記事</p>	<p>備考 一、供給通報ニハ特務艦船等ニ搭載セル補給用艦營需 品中ヨリ供給セシ數量ニ對シテハ其ノ補給艦船名ヲ 記事欄ニ記入スルモノトス 二、補給通報ニハ補給用トシテ特務艦船等ニ搭載セシ モノニ就キ記入スルモノトス 三、還納通報ニハ補給用ニ殘除ヲ生シ庫納シタルモノ ヲモ併セテ記入スヘシ但シ此ノ場合記事欄ニ補給用 殘ト記入シ演習用殘額トノ區別ヲ明ニスヘシ 四、通報ハ備品、一般用消耗品、行動用消耗品ニ區別 シ尙供給、貸與、補給、還納ノ各別ニ作製スヘシ 五、兵備品會計規程第二十三條ニ依リ他艦船部隊ヨリ 供給ヲ受ケタルモノニ關シテハ供給通報記事欄中ニ 供給艦船部隊名ヲ又還納通報記事欄中ニ被供給艦船 部隊名ヲ記入スヘシ</p>			

海軍公報 (部内限) 號外

(様式三)
番 號

昭和 年 月 日

(出納命令官經由) 兵備品會計官吏

海軍省軍需局長殿

昭和十二年海軍大演習用行動用 (平常用)

燃料供給 (補給) (還納) 通報

艦船部隊名	月日	品 種	數 稱	數 量	運搬費	記 事

備考

- 一、供給通報ニハ特務艦船等ニ搭載セル補給用燃料中ヨリ供給セシ數量ニ對シテハ其ノ補給艦船名ヲ記事欄ニ記入スルモノトス
- 二、補給通報ニハ補給用トシテ特務艦船等ニ搭載セシモノニ就キ記入スルモノトス
- 三、還納通報ニハ補給用ニ殘餘ヲ生シ庫納シタルモノヲモ併セテ記入スヘシ但シ此ノ場合記事欄ニ補給用殘ト記入シ演習用使用殘額トノ區別ヲ明カニスヘシ

(様式四)

昭和十二年海軍大演習用燃料 (行動用消耗品) 豫算決算表

所屬別	艦 船 部隊名	告知額 累 計	供給額合計		豫算殘額	摘 要
			數額	代 價		

四、通報ハ行動用、平常用ニ區別シ尙供給、補給、還納ノ各別ニ作製スヘシ

五、兵備品會計規程第二十三條ニ依リ他艦船部隊ヨリ供給ヲ受ケタルモノニ關シテハ供給通報記事欄中ニ供給艦船部隊名ヲ又還納通報記事欄中ニハ被供給艦船部隊名ヲ記入スヘシ

四

(様式五)

昭和十二年海軍大演習用艦營需品貸與品
損耗復舊表

(何長主管)

艦船部隊名品	名	數稱	數量	金額	記	事

備考

記事欄ニハ損耗理由ヲ記載スヘシ

○通牒

軍需燃第一二九號

昭和十二年七月十六日

海軍省軍需局長

關係各廳御中

昭和十二年海軍大演習用艦營需品及燃料

取扱方解説ノ件通知

官房第三七二七號ヲ以テ昭和十二年海軍大演習用艦營

需品及燃料取扱方通達相成候處右ニ對スル解説左記ノ
通爲參考

記

第二號解説

イ、艦營需品(行動用消耗品ヲ除ク)ハ演習ノ爲増
設セラレタル司令部及特設部隊、第二、第三豫備
ヨリ演習ニ參加スル艦船、演習中移動無線電信機
等ヲ臨時裝備スル艦船部隊ニ對シ告達ス

ロ、行動用燃料及行動用消耗品ニ對スル豫算ハ演習
ニ參加スル艦船、航空機ニ告達ス

ハ、平常用燃料ニ對スル豫算ハ第二、第三豫備ヨリ
演習ニ參加スル艦船ノ差増及演習中海軍艦船ニ臨
時搭載ノ内火艇及移動無線電信機等ヲ臨時裝備ス
ル艦船部隊ニ對シ告達ス

第五號解説

中央審判部首席審判官ノ通知スル豫算ノ増減ハ告達
豫算簿ニ登記ヲ要ス

第六號解説

演習豫算ハ聯合艦隊所屬(演習ノ爲配屬セラレタル
モノヲ含マズ)ノ艦船ニ對シテハ演習終結ノ日、右
以外ノ艦船ニシテ演習ニ參加セシモノニ對シテハ演

海軍公報(部内限)號外

習終結後（第二期演習ニ參加セザル艦船ニ在リテハ第一期演習終結後）所屬軍、要港歸着ノ日ヲ以テ打切整理スルモノトス

第七號解說

本通報ハ演習用燃料及行動用消耗品ノ整理ヲ行フ資料ナルヲ以テ電報等ニヨリ出來得ル限リ速ニ中央審判部首席審判官及海軍省軍需局長ニ通報スルモノトス

第八號解說

例ヘバ甲艦ノ行動用燃料ノ使用區分ハ塊炭（塊炭）トアルモ所屬長官ガ同艦演習任務行動ノ關係上及演習用豫算ノ狀況等ニ依リ塊炭（塊炭）ヲ使用セシムル必要アリト認ムル場合ハ告達豫算ノ範圍内ニ於テ適宜使用セシムルコトヲ得ルモノトス

第九號解說

所屬長官ハ重油、塊炭又ハ塊炭各告達ノ二割以内適宜ノ數量ヲ告達豫算簿ニ於テ減額シ之ヲ他ノ必要ナル品種ニ換算シ其ノ數額ヲ登記ノ上之ヲ告知スルコトヲ得ル規定ニシテ此ノ場合互ニ換算セル品種ト數額ヲ適宜ノ様式ニ依リ中央審判部首席審判官及海軍省軍需局長ニ通知スルモノトス

第十一號解說

甲所屬長官ハ自己保有ノ燃料及行動用消耗品ヲ乙所屬長官ニ分割スルニ當リ燃料經理規程第十條ニ依リ大臣ノ認許ヲ要セズ

第十二號解說

特務艇ニ要スル演習用燃料及行動用消耗品豫算ニ就テハ特務艇長ヲ所轄長ト同様ニ取扱ヒ所屬長官ハ之ニ豫算ヲ告知スルコトヲ得ルモノトス
右ニ依ル場合ニハ兵備品會計規程別表備考第一號參照ノ上特務艇乘員中適宜ノ職員（機關長職務執行者等）ヲ分任兵備品會計官吏及兵備品取扱主任ニ命ズルヲ要ス

第十三號解說

帳簿等ニ演習用ヲ區分記入スルコトナリ但シ所屬長官燃料經理規程第三十七條ニ依リ燃料豫算現狀報告（様式第十六號）ハ別冊トシテ調製提出スルモノトス

第十四號解說

演習參加艦船ハ豫メ演習用燃料及行動用消耗品ヲ搭載シ得ル様經常用在庫額ヲ適當ニ調節スベキモ已ムヲ得ザル事情ニ因リ演習用燃料及行動用消耗品ノ一

部又ハ全額ヲ搭載シ得ザル場合ハ演習用告知豫算ノ
 範圍内ニ於テ經常用在庫品ヲ一時假拂出シ使用シ置
 キ爾後其ノ數額ヲ演習用豫算ヲ以テ受込ミ之ヲ演習
 ニ使用シタルモノトシテ整理スルカ又ハ舊所屬長官
 ノ同意ヲ得テ經常用在庫品ヲ還納(書類)手續シ新
 ニ演習用告知豫算ヲ以テ受込ミ(書類)整理スルモ
 ノトス
 前項ニ依リ還納セル經常用燃料及行動用消耗品ノ數
 額ニ對スル豫算ハ請求ヲ俟テ舊所屬長官ニ告達セラ
 ル

第十六號解說

例ヘバ甲艦演習任務終了ノ日一〇〇噸ノ演習用燃料
 ノ使用殘額ヲ有スルトキハ書類上ノ還納手續ヲナス
 ト同時ニ經常用行動豫算又ハ平常豫算ヲ以テ受込ム
 モノトス若シ役務ノ關係上當時經常豫算ナキモ十二
 月一日艦隊又ハ警備任務ニ就役シ右在庫品ヲ經常用
 ニ繰替ヘ得ル豫定ノモノニアリテハ其ノ期間マテ保
 有シ置キ豫算ノ告知ヲ俟テ前記同様ノ手續ヲナシ經
 常用ニ繰替受込ノ上使用スルモノトス
 但シ昭和十二(會計)年度内ニ繰替受込ミ使用ノ目
 途ナキモノニアリテハ還納スルモノトス

特務艇ニ於ケル使用殘額ニ付テハ特務艇分任兵備品
 會計官吏ヨリ書類上ノ還納手續ヲナスト同時ニ該特
 務艇ノ屬スル固有防備隊ノ經常用豫算ヲ以テ受込ム
 コトトシ前項ニ準シ處理スルモノトス

1785

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千六百六十七號

昭和十二年七月二十日(火)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第二六二七號

今次事變ノ爲特設聯合航空隊、特設航空隊等ニ於テ特ニ要スル兵備品ノ所管區分左ノ通定ム

昭和十二年七月十七日

海 軍 大 臣

種 目	特設聯合航空隊司令部				所管鎮守府	官房機密第二六六四號 昭和大臣官房第二五三號 今次事變ニ依リ特ニ支那方面ニ派遣セラルル艦船部隊 竝ニ特設艦船部隊ニ要スル經營需品及燃料ハ艦船需品 經理規程第十二條竝ニ燃料經理規程第十五條ノ規定ニ 拘ハラズ當分ノ問告知豫算外ヲ以テ供給又ハ直買スル コトヲ得	航空本部關係兵 器以外ノ兵備品	木更津航空隊	特設航空隊	鹿屋航空隊	木更津航空隊	横須賀
	第二十二航空隊	第二十一航空隊	第十三航空隊	第十二航空隊								
傳シ艦船部隊ハ既告知豫算不足ノ場合ニ限ル 昭和十二年七月二十日 海 軍 大 臣												

海軍公報(部内限) 第二千六百六十七號 昭和十二年七月二十日

六一一



海軍公報(部内限) 第二千六百六十七號 昭和十二年七月二十日

六一二

官房機密第二六六三號
第十二航空隊ノ經費ハ海軍會計規程第三十九條別表第
四(丙)ノ規定ニ拘ラズ吳海軍經理部ノ所掌トス
昭和十二年七月二十日

海軍大臣

○ 通牒

官房第三八一號

昭和十二年七月二十日

海軍次官

各關係廳長殿

海軍練習航空隊選修學生ニ關スル件申進

海軍練習航空隊選修學生ノ新設ニ關シテハ目下關係法
規ノ改正手續中ナル處昭和十二年十一月一日採用スベ
キ選修學生ノ取扱ニ付テハ左記ノ通定メラレ候

記

一、選修學生候補者取扱一般

(一) 所轄長ハ部下航空科若ハ整備科ノ准士官、航空
科ノ一等下士官又ハ進級ニ必要ナル實役停年ヲ有
スル整備科ノ一等下士官ニシテ選修學生ヲ志願シ

且年齢三十三年以下ノ者ヲ選抜シ選修學生候補者
トシテ選修學生選抜表(別表第一)ニ通テ調製シ
所屬長官ヲ經テ試験期日迄ニ在籍鎮守府司令長官
ニ提出又ハ送付スルモノトス

(二) 所轄長ハ横須賀海軍航空隊司令ノ作製セル試験
問題ニ依リ指定期日ニ試験ヲ行ヒ同採點標準ニ依
リ成績表ヲ調製シ答解書ト共ニ在籍ノ鎮守府司令
長官ニ提出又ハ送付スルモノトス、試験ハ各地指
定期日ニ行ヒ若シ特別ノ事情ニ依リ其ノ期日ニ於
テ行フコト能ハザルトキハ試験問題漏洩ノ虞ナキ
トキニ限り其ノ期日ニ拘ラズ試験ヲ行フコトヲ得
此ノ場合ニ於テ所轄長ハ其ノ事情ヲ在籍ノ鎮守府
司令長官ニ報告又ハ通報スルモノトス

(三) 選修學生候補者ニ課スル試験問題左ノ如シ
普通學筆答
中學第二學年修了程度ノ國語、漢文、作文、算術
及代數ヲ課ス
術科筆答

(四) 掌航空兵、掌航空兵器兵、掌水雷(航空魚雷)兵
及掌整備兵別トシ特修ノ術科ニ關スル事項ヲ課ス
鎮守府司令長官ハ筆答試験成績及平素ノ考課ヲ

考量シ候補名簿(別表第二)ヲ作製シ選抜表ト共
ニ之ヲ海軍大臣ニ進達スルモノトス

(五) 海軍大臣ハ採用豫定者ヲ鎮守府司令長官ニ指
示ス

鎮守府司令長官ハ前項ノ指示ニ基キ採用者ニ選修
學生ヲ命ジ其ノ官氏名ヲ横須賀海軍航空隊司令ニ
通知ス

所轄長ハ部下中ニ選修學生ヲ命セラレタル者アル
トキハ其ノ出發前更ニ身體検査ヲ行ヒタル上期日
ニ入隊セシムルモノトス

所轄長ハ前項ノ規定ニ依リ施行スル身體検査ニ合
格セザル者アルトキハ其ノ入隊ヲ止メ直ニ之ヲ海
軍大臣及在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告又ハ通報ス
ルモノトス此ノ場合ニ於テハ鎮守府司令長官ハ其
ノ選修學生ノ採用ヲ取消シ第一項乃至前項ノ規定
ニ準ジ補缺員ヲ採用スルモノトス

二、勤務日數最終計算期日

昭和十二年十一月一日

三、試験期日

第一日 昭和十二年八月十九日

午前 算術

午後 國語、漢文、作文
第二日 昭和十二年八月二十日

午前 代數
午後 術科

四、候補名簿及選抜表進達期日

昭和十二年九月十日

(備考)

(一) 昭和十一年官房第五三四六號ニ依ル海軍兵學
校、海軍機關學校選修學生ノ採用試験ヲ受ケタル
航空科、整備科准士官及下士官ハ同校選修學生ト
シテ採用セシメラレザルヲ以テ海軍練習航空隊選
修學生志願者ハ改メテ本號ニ依ル採用試験ヲ受ク
ルヲ要ス

(二) 横須賀海軍航空隊司令ハ選修學生ノ試験問題及
同採點標準ヲ封秘ノ上豫メ各海軍人事部長ニ送付
シ各海軍人事部長ハ之ヲ在籍ノ艦船部隊(鎮守府
相互ニ於テ貸借中ノ者ハ補充ヲ受ケタル海軍人事
部長ヨリ)ニ送付スルモノトス
(別表二頁)

海軍公報(部内限)第二千六百六十七號

昭和十二年七月二十日

(別表第一)

現官現職 氏名 年齢		現官任命 年月日	勤務日数	身體	所轄長及經由 上官所見
選抜時ノ職、入籍番號(下士官ニ限ル)官氏名及年齢(入隊ノ年ノ十一月一日ヲ計算期トス)ヲ記註ス 海軍出身後受ケタル學校練習航空隊ノ教育		識量 拔群一〇、優等九、佳良八、通常七トシ記註ス	氣質 海軍考課表規則ニ準ジ記註ス	特科 航空科ト整備科トニ分テ且航空科ニ在リテハ專修特科ヲ記註ス	本學生候補者ニ選抜シタル理由ヲ記シ職、氏名ヲ記シ捺印スルモノトス
練習生ノ種別卒業年月日及卒業成績ヲ左例ニ依リ記註ス 昭和二、五、三〇第十期操練215				選抜回数 此ノ種學生候補者トシテ選抜回数ヲ記註ス	
身體検査ノ結果ニ依リ海軍考課表規則ニ準ジ記註ス			役停年)ヲ記註ス 准士官ニ進級以後ノ勤務日数(一等下士官ニ在リテハ其ノ實)ヲ記註ス		

海軍練習航空隊選修學生選抜表

美濃紙半葉大、用紙適宜

(昭和十二年七月二十日公報(部内限)別紙)

(別表第二)

昭和 年 月 日

海軍大臣 爵氏 名 殿

鎮守府司令長官 爵氏 名 殿

海軍練習航空隊選修學生候補名簿

考 備	順 候 序 補	年 齡	勤 務 日 數	學 術 試 驗 成 績 百 分 比					適 否	特 科	官 氏 名
				國 漢 文	作 文	算 術	代 數	術 科			
一 必要ノ事項アラバ適宜記入ス 二 適否ノ欄ニハ左ノ區分ニ從ヒ「最適」「適」又ハ「稍適」ト記入ス 「最適」選修學生トシテ申分ナキ者 「適」選修學生トシテ差支ナシト認ムル者 「稍適」選修學生トシテ「適」ニ次キ差支ナシト認ムル者											

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」
指定ヲ要セズ

○七月二十日午前十時調

【横須賀】

對馬▲大鯨、鳥海、愛宕、那珂▲阿武隈、
駒橋、▽山城、木曾、▽沖島、神威

沖風▲峯風▲▽島風▲沙風▲灘風▲
▽太刀風、羽風、秋風、▽響▲雷▲電▲

呂五八
富士▲、尻矢、洲崎

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

▽嚴島

夕風
呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲▽伊二四、伊二三、伊七

▽掃二、掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

【石川島】

(鳩)▲

【横濱】

(雁)▲

【浦賀】

(涼風)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

大泊

【函館】

帆風▲

吳
矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、扶桑、
青葉、衣笠、伊勢、安宅▲、大井、▽長鯨、
▽白鷹、多摩、▽陸奥、長門、日向、▽霧島、
榛名、▽五十鈴、▽龍驤、鳳翔、
夕顔、藤、矢風、▽陸月、卯月、如月、彌生

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲、
伊五三、伊五四、▽呂三三、呂三四、
伊五七、▽伊七三、伊七一、伊七二、
伊二、伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、
▽掃一六、掃一四、掃三、掃一五、掃一七、掃一八、
石廊、室戸、攝津、襟裳、朝日、鳴戸

【大阪】
古鷹▲
(蒼龍)▲(千歲)▲(熊野)▲

【神戸】
▽伊六三、伊五九▲
(滿潮)▲

【相生】
能登呂▲
(鷲)▲

【玉】
(雄)▲

【因島】
▽薄▲、葛▲

【江田内】
平戸、淺間

【別府】
▽高雄、摩耶、▽羽黒、那智、▽神通、▽迅鯨、
▽加賀

▽隴、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽綾波、
磯波、浦波、敷波、▽文月、皐月、水無月、
長月

伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六一、
伊六二、伊六四、▽伊六七、伊六六

【舞鶴】
吾妻▲
▽白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

海軍公報(部内限)第二千六百六十七號

昭和十二年七月二十日

六一五

<p>【上 海】 出雲、堅田</p>	<p>【青 島】 芙蓉、劉登</p>	<p>【塘 沽】 天龍、龍田</p>	<p>【大 沽 沖】 泥</p>	<p>【旅 順】 白雲、夕月、三日月、望月、初雪、吹雪、</p>	<p>【鎮 海】 葦、松風、朝風</p>	<p>【馬 公】 松風、朝風</p>	<p>【鹿 兒 島】 眞鶴、磯峨、勝力</p>	<p>【長 崎】 三隈</p>	<p>【朝 潮】 眞鶴、磯峨、勝力</p>	<p>【敦 島】 佐多、鶴見、知床</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>	<p>【呂 三 〇】 呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇</p>
<p>【南 京】 栗</p>	<p>【九 江】 蓮</p>	<p>【漢 口】 熱海</p>	<p>【長 沙】 八重山、保津</p>	<p>【宜 昌】 勢多</p>	<p>【重 慶】 二見</p>	<p>【馬 尾】 比良</p>	<p>【厦 門】 旗風、呂若竹</p>	<p>【汕 頭】 夕張</p>	<p>【廣 東】 吳竹、春風</p>	<p>【作 業 地】 早苗</p>	<p>【航 海 中】 神風、野風、波風、沼風、朝顔</p>	<p>【警 手】 八雲 (十日古倫母發「ヂブチ」)</p>	<p>【春 日】 春日 (十七日橫須賀發「釜山」)</p>	<p>【鳥 羽】 鳥羽 (十七日宜昌發「漢口」)</p>	<p>【間 宮】 間宮 (十七日宿毛發「大阪」)</p>	<p>【隱 戸】 隱戸 (十七日吳發「オハ」)</p>	<p>【山 風】 山風 (十八日佐世保發)</p>	<p>【榆 風】 榆風 (十八日鎮海發)</p>	<p>【梯 風】 梯風 (十九日鎮海發)</p>	<p>【足 柄】 足柄 (十九日佐世保發)</p>	

(別表二頁、辭令號外一頁)

海軍公報

(部内限) 第二千六百六十八號

海軍大臣官房

昭和十二年七月二十一日(水)

○通牒

軍需需第二八八號

昭和十二年七月二十日

海軍省軍需局長

關係各廳長
各軍需部長 殿

通信長主管艦營需品諸用紙ニ關スル件通牒

本年内令第二百三十號ヲ以テ制定相成候海軍無線交信規程附表(舊海軍無線通信規程別冊附表) 中左記諸表ノ様式改正セラレ候處從來品ハ其ノ儘在庫限リ供給使用ノコトニ取計相成度

記

附表番號

品

名

記

事

附表第三

海軍無線電話用紙

舊附表番號第四

同 第四

海軍歐文無線電報用紙

同 第三

同 第五

海軍航空無線電報用紙

同 第九

海軍無線氣象通報受信用紙

○辭令

海軍技師 上羽 助太郎 (艦本監)

水雷艇鷲審議委員ヲ命ス

同 濱村 雅男

水雷艇鷲審議委員ヲ免ス(以上^上海軍艦政本部)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第二十四驅逐隊司令ハ本月十八日司令驅逐艦ヲ江風ヨリ山風ニ變更セリ

○特務艦隱戶行動豫定變更(七月十五日)

地名 着

發

海軍公報(部内限) 第二千六百六十八號

昭和十二年七月二十一日

六一七

吳	ハ	七月二十五日	七月十七日
オ	山	八月三日	二十六日
德	漆	九月九日	八月五日
木	ベトロバツロ フスキー	九月十六日	十一月四日
カ	カタングリ	九月二十一日	十八日
德	山	九月二日	九月四日
吳	山	九月四日	九月四日

○郵便物發送先變更(七月十五日)
特務艦隱戸宛 (本欄参照)

八月 四 日迄ニ到達見込ノモノハ 德 山
同 十 日迄ニ 同 高氣行大 漆
九月 三 日迄ニ 同 德 山
其ノ後ハツラノ間 佐世保郵便局 氣行

○書類發送先
横須賀鎮守府第一特別陸戰隊宛
當分ノ間 横須賀海兵團氣付

○諸給與移牒ノ件通知
左記潜水隊乗員ニ對スル諸給與ハ當分ノ間本校ニ於テ
支給可致候條關係書類ハ本校宛送付相成度
第十八潜水隊(伊號第五三、五四潜水艦)
記

第十九潜水隊(伊號第五六、五七、五八潜水艦)
第二十潜水隊(伊號第七一、七二、七三潜水艦)
第二十一潜水隊(呂號第三三、三四潜水艦)
(海軍潜水學校主任計長)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○七月二十一日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、大鯨、島海、愛宕、那珂▲、阿武隈、駒橋、▽山城、木曾、▽沖島、神威

▽太刀風、羽風、秋風、▽響▲、雷▲、電▲

呂五八 富士▲、尻矢、洲崎

【長浦】

▽嚴島

夕風 呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽伊二四、伊二三、伊七 掃二、掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

【石川島】

▽鳩▲

▽雁▲

▽涼風▲

▽澤風▲

▽大泊

▽帆風▲

▽矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、扶桑、青葉、衣笠、伊勢、安宅▲、大井、▽長鯨、多摩、夕顔、藤、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲

伊二二、伊二一、▽呂三三、呂三四、伊三三、伊三二

【大阪】

▽古鷹▲

【神戸】

▽滿潮▲

【相生】

▽荒潮▲、伊八▲、伊七五▲

【玉】

▽鷲▲

【因島】

▽雄▲、▽鷲▲

【江田内】

▽平戸、淺間

【別府】

▽加賀

【宿毛】

▽足柄

【門司】

▽吾妻▲

【舞鶴】

▽白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

【宿毛】

▽呂六四

【舞鶴】

▽呂六四、▽鴻、隼、鴨、鶴、(春雨)▲、(大潮)▲

海軍公報(部内限)第二千六百六十八號

昭和十二年七月二十一日

六一九

<p>【佐世保】赤城▲、加古、長良、妙高▲北上、▷金剛、 ▷常磐、▷由良、名取、鬼怒 梨▲竹▲、榎▲桃▲、柳▲檜▲、董▲、 菱▲、蓬▲、▷疾風、追風、▷江風、海風、 ▷夕風、朝風、▷曉、漣、狭霧 ▷呂三〇▲、▷呂三一▲、▷呂三二▲、▷呂六〇、 ▷呂六一、▷呂六二、▷呂六八、▷呂六三、 ▷呂六七、▷呂六五、▷呂六六、▷伊六〇、▷伊六五 ▷初雁、千鳥、友鶴 敷島▲、佐多 (朝潮)▲、(夏雲)▲、(伊七四)▲</p>	<p>【航海中】 ▷磐手、八雲(十日古倫母發「チブチ」) 鳥羽(十七日宜昌發「漢口」) 隱戸(十七日吳發「オハ」) 山風(十八日佐世保發) 早鞆(十九日「オハ」發) ▷川内、▷夕立、村雨、五月雨、▷時雨、白露、有明、 夕暮、▷初霜、子日、若葉、初春(二十日佐世保發) 淀(二十日大沽沖發「芝罘」) ▷初雪、吹雪、白雪(二十日旅順發「佐世保」) 栗(二十日上海發「鎮海」) 朝顔(二十日上海發「青島」) 知床(二十日佐世保發) 鶴見(二十日佐世保發「宿毛」) 陸奥、長門、日向、▷霧島、榛名、▷五十鈴、▷龍驤、 鳳翔、▷陸月、卯月、如月、彌生、▷伊二、▷伊一、 伊三、▷伊六、▷伊四、▷伊五(二十一日吳發「宿毛」)</p>	<p>【九江】熱海 【漢口】▷八重山、保津 【長沙】勢多 【宜昌】二見 【重慶】比良 【馬尾】旗風、▷若竹 【廈門】▷夕張 【汕頭】吳竹、春風 【廣東】早苗 【作業地】▷神風、野風、波風、沼風 膠州、間宮</p>	<p>【長崎】三隈▲ 【古江】真鶴 【蘆浦】楡 【泉浦】榎 【馬公】嵯峨▲、勝力 ▷松風、朝風 【釜山】葦 【六連島】春日 【濟州島】三日月、望月 【旅順】野島 【塘沽】▷菊、葵、萩 【青島】▷天龍、龍田 ▷芙蓉、劉萱 ▷出雲、堅田 【上海】 【南京】 【蕪湖】逆</p>
---	--	--	--

(辭令號外一頁)

海軍公報

(部内限) 第二千六百六十九號

海軍大臣官房

昭和十二年七月二十二日(木)

○令 達

官房第三八五九號
 當分ノ間掌航空兵出身タル航空科特務士官准士官及掌
 航空兵タル下士官及兵ノ人事取扱ニ關シ海軍省人事局
 通報(電報)又ハ送付スベキ事項(現行規定ニ依
 リ實施シツツアルモノヲ除ク)ヲ左ノ通定ム
 昭和十二年七月二十二日

海軍大臣

- 一、所轄長又ハ拔擢名簿調製官ヨリ通報(電報)又ハ送付スベキ事項
 - (一) 海軍考課表規則第四條乃至第十條ノ規定ニ依リ進達(移牒)スル考課表寫
 - (二) 海軍武官任用進級取扱規則第十五條ノ規定ニ依リ進達スル拔擢名簿寫又ハ第二十二條及第二十四條ノ規定ニ依ル報告寫
 - (三) 海軍航空機搭乗員技倆調査表規則第六條第二項

- ノ規定ニ依ル通報寫及第七條第二項ノ規定ニ依リ調製スル調査表寫
- (四) 海軍准士官以上履歷書及身上取扱規則第七條、第十二條及第十三條ノ規定ニ依ル通報寫又ハ電報
- (五) 海軍軍人軍屬休暇規則第九條及第十條ノ規定ニ依ル報告寫
- (六) 艦船職員服務規程第五十二條及之ガ準用規定ニ依ル報告寫
- (七) 海軍武官服役令施行規則第八條、第二十條、第二十二條(海軍武官服役令第二十七條ニ該當スル者ヲ除ク)、第二十三條乃至第二十六條又ハ海軍志願兵令施行規則第十三條、第十五條(海軍志願兵令第十九條及第二十條該當者ヲ除ク)、第十六條乃至第十九條ノ規定ニ依ル進達、其中又ハ通報寫
- (八) 海軍下士官兵身上取扱規則第八條及第八條ノ二ノ規定ニ依ル通知寫
- (九) 海軍下士官兵善行章令施行規則第十二條ノ規定

海軍公報(部内限) 第二千六百六十九號

昭和十二年七月二十二日

六二一

- (一) 依ル通報寫
 - (二) 海軍懲罰令第二十九條及第三十二條ノ規定ニ依ル報告寫
 - (三) 海軍特修兵令第六條第一項但書及同條第二項又ハ海軍練習航空隊規則第二十七條ノ規定ニ依ル具申、報告又ハ通報寫
 - (四) 海軍下士官兵定員補充交代規則第十四條ノ規定ニ依ル上申寫
 - (五) 別表様式ニ依リ一月一日、三月一日、六月一日及九月一日現在ニ於ケル搭乗員配置表(士官ヲ含ム)ヲ調製送付スルモノトス
 - (六) 右期日以後ニ於テ配置ヲ變更シタルトキハ其ノ旨速ニ通報スルモノトス
 - (七) 其ノ他人事取扱上必要ト認ムルモノ
 - (八) 海軍人事部長ヨリ通報(通知)又ハ送付スベキ事
- 項
- (一) 新ニ准士官ニ進級又ハ掌航空兵トナリタル者ノ履歷書寫又ハ履歷原表寫
 - (二) 海軍武官服役令施行規則第二十七條第二項又ハ海軍志願兵令施行規則第二十條第二項ノ規定ニ依ル通知寫
- (三) 海軍武官服役令施行規則第二十一條又ハ海軍志願兵令施行規則第十四條ノ規定ニ依リ再現役ノ許可ヲ取消サレタル者アルトキ
 - (四) 海軍武官待命休職停職者心得第四條第三項又ハ大正二年官房第二七五二號第一、第三及第四ノ規定ニ依ル報告又ハ通報寫
 - (五) 其ノ他第一號ニ規定スルモノノ外人取扱上必要ト認ムルモノ
 - (六) 海軍練習航空隊ノ司令ハ同隊規則第十條第二項ノ規定ニ依ル學生ノ卒業成績表並ニ練習生ノ學業考課表及卒業成績表ノ寫ヲ送付スルモノトス
 - (七) 海兵團長ハ海軍下士官兵身上取扱規則第二十條ノ規定ニ依リ下士官兵ノ歸休ヲ其中スルトキハ其ノ寫ヲ送付スルモノトス
 - (八) 關係各廳長ハ海軍省人事局長ヨリ人事取扱上必要ナル事項ヲ求ムルトキハ之ヲ通報(通知)又ハ送付スルモノトス
- (別表一葉添) 六三三頁ノ次ニアリ

○ 辭 令

第一課勤務ヲ命ス(七五)海軍省軍務局
海軍少佐 溪口 泰磨

海軍大佐 新葉 亭造(艦本)

海軍少佐 井上 良雄(涼風)

海軍大尉 淺井 秋生(同)

同 西村 定男(同)

(各通) 海軍機關中佐 塩飽 一郎(艦本監)

同 守田 定三(艦本)

海軍機關少佐 齋藤 孝吉(涼風)

海軍造船少佐 廣幡 増彌(艦本監)

海軍造兵中佐 藤原 藤樹(同)

驅逐艦涼風審議委員ヲ命ス(七五)海軍艦政本部

海軍造兵少佐 稻富 久雄

海軍用語調査委員會臨時委員ノ指定ヲ解ク(七五)海軍

用語調査委員會委員長)

(臨時)海軍主計中佐 宮本 正光

海軍用語調査委員會委員ノ指定ヲ解ク

同 山沖 芳市

海軍用語改正ノ爲海軍用語調査委員會臨時委員ニ指

定ス(以上七五同)

○ 雜 款

○郵便物發送先

軍艦白鷹宛

自今

門司郵便局氣付

第十六驅逐隊(朝顔)宛

當分ノ間

門司郵便局氣付(軍艦郵便)

特務艦鳴戸宛

當分ノ間

吳

海軍公報(部内限) 第二千六百六十九號 昭和十二年七月二十二日

備考
卜小隊長。機長「」内ハ記註例

「艦上攻撃機隊」 〔式九八〕						區 配 置	操 縦 員	偵 察 員
「隊小三第」			「隊小一第」					
「三」	「二」	「一」	「三」	「二」	「一」	等官	氏名	籍在
			「空一」 奥田幸	「長曹空」 高山登	「尉大」 陸奥久			
			「横」 五期飛 八七三	「佐」 一五期 二四六	「三〇期」 五二六	學生練 習生期 別卒業 年月日	艦隊航空 隊員上參 考トナル	勤務年數 ベキ事項
						等官	電 信	偵 察
			「空一」 高崎眞	「曹空三」 清水淳	「空一」 澤滿	氏名	籍在	偵 察
			「佐」 三三期 八七三	「横」 三六期 九七三	「吳」 三三期 八七三	學生練 習生期 別卒業 年月日	艦隊航空 隊員上參 考トナル	勤務年數 ベキ事項
						等官	偵 察	員
			「曹空三」 山本勘介	「曹空一」 田中一夫	「曹空一」 山田一馬	氏名	籍在	偵 察
			「吳」 三六期 九七三	「吳」 二五期 四九六	「横」 二五期 四九六	學生練 習生期 別卒業 年月日	艦隊航空 隊員上參 考トナル	勤務年數 ベキ事項

(様式)

搭乗員配置表 (六月一日)

(大村海軍航空隊)

(昭和十二年七月二十二日公報(部内限)別紙)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○七月二十二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、大鯨、鳥海、愛宕、那珂▲、阿武隈、
駒橋、木曾、▽沖島、神威
沖風▲、峯風▲、▽島風▲、汐風▲、灘風▲
羽風、秋風、▽響▲、雷▲、電▲

呂五八

富士▲、尻矢、洲崎
(鈴谷)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

▽嚴島
呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲
呂五九▲、▽伊二四、伊二三、伊七
▽掃二、掃六、掃五、掃一、掃三、掃四

【石川島】

(鳩)▲
横濱(雁)▲
浦賀(涼風)▲
館山(山城)▲

【大湊】

大泊
帆風▲
矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、球磨、扶桑、
青葉、衣笠、伊勢、安宅▲、大井、▽長鯨、多摩
夕顔、藤、矢風

【函館】

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲
呂二八▲、伊五一、伊五二、伊五五▲
伊二二、伊二一、▽呂三三、呂三四

【大阪】

▽古鷹▲
▽蒼龍▲、(千歲)▲、(熊野)▲
▽瀨戶▲
▽伊六三▲、伊五九▲
(荒潮)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲
能登呂▲

【相生】

(鷲)▲
【玉】(雄)▲
▽薄▲、葛▲

【因島】

▽平戸、淺間
▽陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、▽五十鈴、
▽龍嶽、鳳翔、▽迅鯨
▽陸月、卯月、彌生
▽伊二、伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、
▽伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六一、
▽伊六二、伊六四、▽伊六七、伊六六

【江田内】

▽宿毛、陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、▽五十鈴、
▽龍嶽、鳳翔、▽迅鯨
▽陸月、卯月、彌生
▽伊二、伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、
▽伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六一、
▽伊六二、伊六四、▽伊六七、伊六六

【門司】

▽白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲
▽呂六四
▽鴻、隼、鶴、鶴

【舞鶴】

▽吾妻▲
▽赤城▲、(春雨)▲、(大潮)▲
▽由良、名取、鬼怒、▽高雄、摩耶、
▽常磐、▽由良、名取、鬼怒、▽高雄、摩耶、

【佐世保】

▽赤城▲、(春雨)▲、(大潮)▲
▽由良、名取、鬼怒、▽高雄、摩耶、
▽常磐、▽由良、名取、鬼怒、▽高雄、摩耶、

海軍公報(部内限) 第二千六百六十九號

昭和十二年七月二十二日

六二五

長崎 三隈 ▲ (朝潮) ▲ (夏雲) ▲ (伊七四) ▲
 古江 眞鶴 ▲
 蘆邊 檜 ▲
 泉浦 榊 ▲
 馬公 嵯峨 ▲ 勝利 ▲
 鎮海 松風 ▲ 朝風 ▲
 釜山 春日 ▲
 六連島 三日月 ▲ 望月 ▲
 濟州島 野島 ▲
 旅順 野島 ▲
 塘沽 野島 ▲
 青島 野島 ▲
 上海 野島 ▲
 鎮江 野島 ▲

羽黒、那智、足柄、神道、加賀
 梨、竹、樞、桃、柳、檜、董、麥
 菱、蓬、疾風、追風、江風、海風
 夕風、朝風、曉、颯、霧、朧、曙
 潮、天霧、朝霧、夕霧、綾波、磯波
 浦波、敷波、文月、卓月、水無月、長月
 呂三〇 ▲ 呂三一 ▲ 呂三二 ▲ 呂六〇
 呂六一 ▲ 呂六二 ▲ 呂六八 ▲ 呂六三
 呂六七 ▲ 呂六五 ▲ 呂六六 ▲ 伊六〇 ▲ 伊六五
 初雁、千鳥、友鶴
 敷島、佐多

【航海中】
 鳥羽 (十七日宜昌發—漢口)
 隱戸 (十七日吳發—オハ)
 山風 (十八日佐世保發)
 早鞆 (十九日オハ發)
 川内 (夕立、村雨、五月雨、時雨、白露、有明、夕暮、初霜、子日、若葉、初春 (二十日佐世保發))
 淀 (二十日大活沖發—芝罘)
 初雪、吹雪、白雪 (二十日旅順發—佐世保)
 知床 (二十日佐世保發)
 鶴見 (二十日佐世保發—宿毛)
 如月 (二十二日宿毛發—佐伯)

南京 梅
 蕪湖 蓮
 九江 熱海
 漢口 八重山、保津
 長沙 勢多
 宜昌 二見
 重慶 比良
 馬尾 旗風、若竹
 廈門 夕張
 汕頭 吳竹、春風
 廣東 早苗
 作業地 磐手、八雲
 膠州 神風、野風、波風、沼風

(別表一葉)